

CNJ Speakers

Know (≠ No) More Cancer 私たちは、もっと伝えたい



No.
22

Special Talk ~
後藤悌×天野慎介 オンライン対談
CNJ News / CNJ Report
海外がん医療 TOPICS

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が がん患者にもたらしたもの

新型コロナウイルス感染症(以下 COVID-19)が発生し、今年に入り、短期間で爆発的に世界 200 以上の国や地域に広がり、多数の罹患者や死者が出ました。

長期間に渡り、通常の社会生活を送ることが困難な状況となり、医療の面でも緊急の対応が求められました。

そのような状況の中で、後藤悌先生(国立がん研究センター中央病院・CNJ 理事)、天野慎介さん(一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン理事長)にお話を伺いました。

(※このインタビューは、2020 年 5 月 11 日に実施しました)

COVID-19 の 出現で変わったこと

COVID-19 が拡大する前後では病院や患者さんの相談で一番変わった事は何でしょうか。

後藤…患者さんが減りました。激減です。連休の影響もありますが、以前はベッド稼働率 95〜98% 前後で運用していましたが、現在は使っていない病床もあり 8 割切ついていると思います。

天野…3月頃は「自分も感染するのではないか」という不安が、主にがん患者さんから寄せられていました。4月になると診療や治療、通院が延期になったとの連絡が入り始め、中頃には、地方の病院でも実際に「COVID-19 のため診療抑制します。しばらく病院には来ないでください」と言われた患者さんの相談がピークになりました。メディアも当時、医療崩壊が間近ではないかと報道していました。5月には少し落ち着いてきましたが、それに代わって増えてきたのは、経済的な相談です。

COVID-19 が 重症化する要因

がん患者が COVID-19 で重症化するリスクは何でしょうか。

後藤…おそらく COVID-19 に限ったことではなく、リスクが高いのは免疫抑制状態にあるとか、感染症に弱い患者さんですね。

アメリカでは肥満の人、タバコを吸っている人や、加えて血管内皮障害、血管が詰まる病態などが、命にかかわる重症化のリスクを持つ人と言われています。一方で、がん患者さんはリスクが高いという報告と、あまり変わらないという報告があります。ニューヨークの病院の電子カルテによるデータでは、COVID-19 に罹患した 5,688 人の中で、がん患者は 6% の 334 人。乳がんと前立腺がんが多いです。

天野…患者さんはその気をしているのですよね。

後藤…患者さんで影響を受けているのはおそらく初診の方です。多くの病院が初診の受け入れを止めたので、がんを疑われた患者さんが受診出来ませんでした。医師から明確な診断をされていないし、相談できる患者会にもたどり着けない。この前、海外紙で話題になっていましたが、この数ヶ月の間に検診などを受けることができずに、早期発見できるがんが、かなり見逃されています。この後きちんと検診を受けられたいのですが、受けなかった場合には、ある程度度数が見逃される可能性があり、診断が遅れる患者さんが出てくるのが予想されます。



天野 慎介

一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン理事長
一般社団法人全国がん患者団体連合会理事長

天野 慎介 (あまの しんすけ)

一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン理事長

一般社団法人全国がん患者団体連合会理事長

2000年、27歳のときに悪性リンパ腫と診断され、化学療法、放射線療法、自家末梢血幹細胞移植を受ける。自身の経験をもとにがん患者支援活動に関わるようになる。2009年から厚生労働省「がん対策推進協議会」会長代理を2期4年務めた。現在、厚生労働省厚生科学審議会がん登録部会委員、がんゲノム医療推進コンソーシアム運営会議構成員などを務める。

メディアに

煽られる不安

後藤…肺がんに関しては感染のリスクが高いというデータがあるのは間違いないです。ただそれはCOVID-19感染症に限ったことではないですね。僕らの予想ではタバコとの関係も大切です。放射線治療にしても、抗がん剤治療にしても、何でもリスクにはなる可能性はありますが、タバコが感染や重症化のリスクになることを世の中は言わなきゃいけない。

肺がん患者のリスクについては、一時はとても心配しましたが、世の中のデータを見たら、多くは心配いらないのではないかと思います。だから過度に不安を煽るような報道はやめたほうがいいんじゃないかなと思います。

放射線治療については著名な女優さんが亡くなられたことで、とても心配されている方が多いようですが。

後藤…日本放射線腫瘍学会などは全く関係ないと主張しています。放射線治療は免疫を下げない。肺がんのように胸部に放射線を照射している人はリスクになる可能性はありますが、例えば足や腕、お腹に放射線を当てても関係ない。ほとんど心配はいらないです。

天野…そのような情報は患者さんにダイレクトに伝わりません。テレビが主な情報源という方は結構いて、話を聞いていると、著名な方が亡くなった直後に本当に悲壮な感じで電話をかけてこられて「放射線治療中だけど、明日外来に行くのをやめようと思う」と言う。「いや、ちょっと待ってください。まずは主治医に相談してください。自分の判断で止めないでください」と言わなきゃいけない。そんな患者さんが、実際複数いらっしゃいました。

後藤…テレビを見て情報を得る人の不安は大きいようですね。そのような時にこそ、CJNやネクサスが活躍すればいいと思います。一方、噂（フェイク）がひどいです。今のままだったら、ほんとインフォデミックになります。マスコミが誤解を得るような報道をして過剰に煽ったことについて、それはおかしいと、ちゃんと声を上げるべきだと思います。がん治療に対しても悪影響を及ぼしています。

天野…3月以降、ずっと感染が心配だからと自ら引きこもっている患者さんが結構いらっしゃいます。そうすると引きこもりによる隔離状態で、精神的に参ってきってしまう。繋がりを持つことはすごく重要だなと思います。でもその繋がりがテレビだけになってしまつと、とんでもないことになってしまいます。そこで、最近オンラインで交流会を開く団体とか患者会が増えていますね。私は、何らかの形で繋がりを絶やさずにいるほしいと強く思います。

後藤 悌 (ごとう やすし)

国立がん研究センター中央病院呼吸器内科

東京大学医学部附属病院、三井記念病院、国立国際医療センター、国立がんセンター中央病院レジデント、東京大学医学部附属病院を経て、2014年より現職。国立がん研究センター中央病院希少がん対策室員（呼吸器腫瘍担当）、国立がん研究センターがんゲノム情報管理センター情報統合室 室員（情報統合調整担当）併任。肺がんを中心とした呼吸器腫瘍に関する新薬の開発と実用化に積極的に取り組んでいる。医療情報、がん診療に関する費用対効果の分野にも興味を持っている。



後藤 悌

国立がん研究センター中央病院
呼吸器内科 医師

主治医との

コミュニケーションを

とることが難しい

COVID-19の拡大により患者さんの手術や治療が延期になっている場合があると聞きます。

後藤…それは施設によってだいぶ違うと思います。うちの病院は、むしろ新患が減ったことによって今月の後半から手術が減ってくるのが懸念されています。がんの手術は不要不急に当たらない。さまざまな事情によって病院で手術できなくなっているということとは大きな問題ですね。

天野…治療を自分から延期したいという人はそんなにいないですよ。定期検診や経過観察、積極的な治療が無い場合には、その時に患者さんの中で判断が分かれました。平時であれば主治医に相談したり、病院に電話をかけたたりできるけれど、既にパンク状態で病院の電話が繋がらない。逆に主治医が患者さんに電話すると患者さんは知らない番号なので電話に出ない。主治医が延々と電話をかけ続ける、その繰り返しと聞いたこともありましたが、なかなかうまくいきません。

ランダム化比較試験を せずに承認

されてもいいのか

天野…私は別の医療機関で倫理委員会に関わっていますが、同意説明文書を紙で取ることが感染リスクになるのではないかと真面目に議論していて驚きました。

その中で治験をやるとなると、本当に大変。説明文書を消毒している病院もあると聞きました。

後藤…ところで、COVID-19への治療に、日本では、アビガンが承認されるかもしれませんが。もしこれが承認されたら、科学的に問題です。効果の可能性があるという理由で、証明されていない治療薬を使うようにするというのは、適用を緩くしていることですが、それならば、命に関わるがん治療の薬はどうなるのかも懸念されます。がん患者さんは、病状が悪化すれば亡くなってしまうのに治療薬がない。

そのような状況であっても、承認されない薬は使えない。ただ社会的な問題だからというだけで承認するとしたら「承認」とは、何なのかという話になりますよね。患者さんに必要な薬の研究とは何かということ、これを機に考えた方がいいと思います。承認前ですが、既にアビガンは多くの病院で投与されています。これが許されるのであれば、がん患者の治療も、適応外使用が全部OKになってしまいます。

天野…メディアも、さっさと投与しろと大合唱ですよ。一般の方々は、「アビガンを投与して軽快した、効いているじゃないか、なぜ、投与しないのか、投与しろよ」という発想なんですよ。ランダム化して効果を調べなければいけないということが、知られていないことがまず問題です。

後藤…それは社会的な問題です。アメリカみたいにどんな薬を使えるようなシステムにするという考え方もありますが、私はあまり賛成できない。しかし、今回のような事が認められるのであれば、例えば承認のプロセスを一時的に止めて、その代わり承認されてからきちんと、その効果を判定する、アメリカのようにアーリーアクセスを確実に確保していくというのも一つかもしれない。

天野…おっしゃる通りで、ゲノム医療であれだけ厳密に、適用外承認薬を治験や臨床試験をしてきたのは一体何だったのかという話になります。

後藤…そうなんです。僕らはそれが正しいと思つてやってきています。将来的に本当にどちらがいいのかというのを、社会として考えていくことが大切だと思います。

COVID-19を 経験した後に

私達の生活は

どう変わるのか

天野…COVID-19が出現する前と後では、がん診療はどうなっていますか。もう一つ、これは僕も答えが無いのですが、Face to faceは危ないということで患者会や交流会ができません。そして「新しい生活様式」に則ると、相当やり方を変えないと再開出来ないのではないかと思います。今後の活動がどうあるべきか岐路に立たされています。

後藤…COVID-19が出現する前と後について、がん診療がどこまで変わるかということに関しては、医療現場でCOVID-19の可能性を考えて治療をしていくことになると思います。とくに、欧米の状況は日本とはまったく異なるので、国際的な交流などについては、先行き不透明だと思います。しかし、医療的な視点はともかく、社会全体としては、あまり変わらないと思います。例えば、2009年の新型インフルエンザの時、世界的に流行し大騒ぎになりましたが、今はほとんど誰も覚えていないですね。その時とどれだけ重症だったとか、世の中がどうだったとかね。もっと大量の人が亡くなったスペイン風邪も流行後も、結局、普通に人と人が交流しています。ソーシャル（社会性）が不可欠なのが人間ですからね。今後、COVID-19をどうまで国が管理する病気として扱い続けるか。

インフルエンザと同様に、ある程度発生しても仕方がない、共存するしかないと思えば、社会は元通りになると思います。おそらくそれらは、社会経済が決めていくと思うのです。感染症では残念ながらゼロリスクはとれません。経済的な問題で命を失う人もたくさんいるのは事実なので、そのバランスを考えなければいけないと思います。

このCOVID-19の問題で、これを機にいろいろなことが急速に進むということはありませんか。

後藤…そうですね。オンライン診療もそうだし、いろいろなことが変わる契機になるかもしれないです。しかし、経済的な打撃が大きいので、進んだかというところ、ちょっと違うような気がします。COVID-19により今後、がん患者さんがストレスを受けた状態で、どうやって社会体制を作っていくか、医者と連絡をどうとっていくかということも、とても大切なことだと思います。こういうことをネクサスやCNIJが、情報提供をしていくことが重要ではないでしょうか。

グループ・ネクサス・ジャパン お知らせ

新型コロナウイルス関連感染症により、患者や家族の皆さまの外出や集まりが難しくなっている状況に鑑み、Web会議システムである「ZOOM」(ズーム)を用いた「リンパ腫オンライン交流会」を開催しています。

<http://group-nexus.jp/nexus/>

「COVID-19 に関するがん患者さんと家族のためのQ&A」 特設ページを開設しました

新型コロナウイルスの感染が拡大した結果、日本でも4月に緊急事態宣言が出され、1ヶ月半に渡り「不要不急の外出」の自粛が求められました。

その間、外出できないことによって、日常生活にも大きな影響がありました。

一方、がん患者さんとその家族は、治療や通院について、感染のリスクや日々の生活など、さまざまな場面で不安に思われることが多かったと思います。そこで、それらの不安や疑問について「誰に聞いていいかわからない」「どう解決したらいいのかわからない」という質問にお答えする「COVID-19に関するがん患者さんと家族のためのQ&A」の特設ページ (<https://www.cancernet.jp/covid-19-qa>) を開設しました。

5月に開設したこのページには「放射線・抗がん剤治療で退院後、自宅で気を付けることはありますか」「治療参加中に感染した場合、治療は中止になりますか」「定期診察は延期した方がよいでしょうか」「ホルモン療法中は免疫力が低下して感染の危険性は高いですか」など、がんの種類や立場、状況が違ふ患者さんとそのご家族から質問が寄せられました。それらの質問に、CNCJ理事を始めとして、外部評価委員、その他医療関係者の先生方よりご回答いただき掲載しています。現在、新型コロナウイルス感染拡大については少しずつ落ち着きを取り戻していますが、今

後もさまざまな問題が生じること
も予想されます。
ぜひ、この特設ページをご訪問く
ださい。質問も受け付けています。
このページが少しでも、がん患
者さんとそのご家族の役に立つこ
とを願っています。

サイトはこちら



<https://www.cancernet.jp/covid-19-qa>



※サイトのQ&Aを一部紹介

Q 再発治療（パクリタキセル とアバステン のウィークリー）を受けながらフルタイムで就業中です。感染を疑うのはどのような症状があったときでしょうか。その場合、まず主治医に連絡し指示を仰ぐのか、それとも保健所が先でしょうか。一人暮らしなので心配です。50代・乳がん・東京都

A: 抗がん剤治療中は、好中球減少などによって発熱することもあり、新型コロナウイルス感染かどうか、とても不安になると思います。発熱だけでは区別がつかないのですが、咳が続くとか息苦しいとかの呼吸器症状を伴うときは、まず病院に電話をして主治医もしくは看護師に相談してください。保健所に連絡した場合、まず主治医にお尋ねくださいという返事になるかと思われます。

Q 脳腫瘍の摘出術後、放射線治療をして1年が経ちました。治療直後は体調を崩す事も多く復職も遅らせました。今は体力も戻って来ましたが、放射線治療で免疫が落ちることがあるのかどうか伺いたいです。基本的な手洗いうがい・マスクはして人混みは避けています。40代・脳腫瘍・千葉県

A: 脳腫瘍に対して放射線療法を行い免疫力が下がることは考えにくく、しかも1年前であれば影響はないと断言できます。著名人の死因に影響した因子として所属事務所が放射線治療について誤ったコメントを出したせいのご心配と思います。 ※参考：日本放射線腫瘍学会のサイト↓
<https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/corona/2019nCoV-02-200420.pdf>

私たちができる全てを、
待っている人のために

アッヴィ合同会社
<http://www.abbvie.co.jp/>

abbvie



がん患者の性生活（セクシュアリティ） 心と体に及ぼす性的側面のサポート

10年以上出入金がない金融機関の預金「休眠預金」を社会課題の解決や民間公益活動に活用するための法律が2018年に施行されました。その休眠預金を活用し公益財団法人日本対がん協会が公募した「がん患者支援の助成事業」のひとつとして2020年度からの3年間、CNJの事業が選ばれました。

がん治療などに伴う外見的・機能的・精神的変化が性（セクシュアリティ）へ及ぼす影響について、特に日本では情報が少なく、患者自身やパートナーが抱える問題が表面化しにくい傾向があります。しかし、がん治療の向上に伴い、がんを克服して、あるいはがんと向き合っているが、がんが社会で活躍できるようになっているがんサバイバーが増えている中、がん患者が抱えるセクシュアリティの問題を軽減・改善することは大変重要になってきています。

今回CNJでは、がん患者へ及ぼすセクシュアリティの問題や、アプローチ方法など、日本ではまだ情報の少ない分野について発信していきます。パートナー向けの情報や海外コンテンツ、体験談など、小児から成人まで100以上のコンテンツをウェブサイト等で発信、また、なかなか相談できないこのような問題を専門家へ個別に相談出来るようなツールの作成、このような情報が広く伝わるようにリーフレットも制作予定です。2021年の公開を目指して進めています。

実際の患者さんやパートナーの意見を取り入れながら進めていきますので、みなさまからのご協力もお願い致します。



第5回CNJがんナビゲーター

(CCN) 認定試験申込案内

CCN認定試験は科学的根拠のあるがんの最新医療情報にアクセスし正しく理解することが出来るかを評価するための試験です。また、最新の正しい医療情報を、分かりやすい言葉で説明できる「がんナビゲーター」の存在は引き続き必要とされています。学習ツールとなる講演動画や解説冊子は無料で公開していますので、今すぐにでも学習を始めることが出来ます。学習ツールが豊富にそろって以降、試験の実施するようになりました。特に公開年月が新しいものを中心に視聴をして下さい。多くの方のチャレンジをお待ちしています。

CNJ 養成講座

CNJ Cancer Navigator

CCN CNJ Cancer Navigator 認定試験

※ 2019 年度の問題 (一部抜粋)

(1) 希少がんの発症頻度は 10 万に 1 人以下と定義されている。
○か×で答えなさい → ()

(2) 漢方薬の中には、服薬後数分で作用を示すものもある。
○か×で答えなさい → ()

(3) 進行がんの患者では () 歳から介護保険が利用できる。
A: 30 B: 40 C: 50 D: 60

(4) 肺癌で有効な分子標的薬がない遺伝子変異は次のうちどれか答えよ。
A: EGFR B: RAS C: ALK D: CTLA-4

答え: (1) × (2) ○ (3) B (4) B

待望の患者さん向けガイドライン
肺がんの正しい知識がこの1冊に。

患者さんのための
肺がんガイドブック

悪性胸膜中皮腫・胸腺腫瘍含む
日本肺癌学会 編 2019年版

患者さんご家族の
さまざまな疑問・質問に
専門家が丁寧に解説します。

B5判 192頁
定価(本体2,200円+税)

金原出版 <https://www.kanehara-shuppan.co.jp/>

申込受付:
9/1(火)~10/30(金)

受講料: **11,000円(税込)**

試験期間:
11/20(金)~21(土)

詳細はこちら



<https://www.cancernet.jp/training/ccn>

合格者へは認定証を発行(認定期間は3年間)。
毎年ピアサポーター、がん患者や家族、がん医療に従事する方、医療従事者などが受験しています。

乳がん体験者

コーディネーター養成講座(BEC)

毎年7月に開講していたBEC養成講座ですが、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言発令の影響で今年度スタートする第16期は9月の開講になりました。BECは2007年に開校以来、589名の方が受講し、現在277名の認定者が全国で活躍中です。

認定者活動一覧



BEC養成講座は、e-learningを使ったプログラムの他に、少人数のグループごとに、対面でケーススタディやロールプレイをして学ぶ講義があります。第15期は、そのプログラムの途中で、新型コロナウイルス感染が拡大し始めたため、急遽Zoomを使用したオンラインで行うことになりました。また講座の最後に行う全体発表と修了式も、例年は3月に開催していましたが、3ヶ月遅れの6月13日にオンラインで開催しました。初めての試みのため受講生もスタッフも事前に何度もZoomの練習を重ね、無事15期を終えることができました。このような状況のなか、受講生全員の35名がBECに認定されました。BECの講義を通じて、私たちが新しい生活様式での患者アドボカシーについて考える機会となりました。

申込受付：(早割あり)

7/1(水)～12/21(月)

受講料：73,000円～(+税)

受講期間：

9/3(木)～2021年5月下旬

詳細はこちら



https://www.cancernet.jp/training/bec

BEC 認定者限定

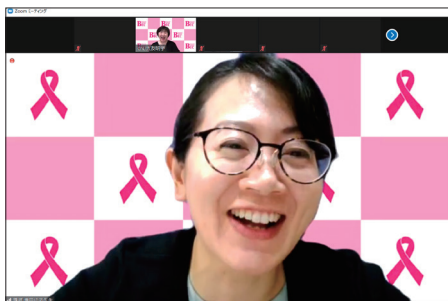
オンライン緊急セミナー

乳がん最新情報
くぶっちゃけトーク、なんでも答えます！
新薬から乳がん都市伝説まで！開催

BEC認定者のフォローアップを目的として丸1日かけて学ぶアドバンス講習会が中止となり、代わりに時間を短縮してZoomでのセミナーを開催しました。昭和大学乳癌外科の増田紘子先生を講師にお招きし、56名の認定者が参加しました。増田先生からは、保険承認されたばかりの治療、これから承認される薬の話、臨床試験の結果、QOLなどで医療現場が今どのような状況なのか等々、盛りだくさんの内容をお話いただきました。参加者からは「大変勉強になった」「わかりやすかった」という感想を多くいただきました。また「これまでの講習会は東京での開催だったため参加できなかったが、オンラインならウィルスを気にせず、コストもかからず気軽に参加できる」と遠方の方たちからも好評でした。セミナー後は3つのグループに分かれ、お互いの近況報告などをして交流を深めました。



当日参加の様子



【医療者対象】乳がん薬物療法の

シェアードディシジョンメイキング

セミナーin名古屋開催

昨年よりスタートした本セミナーの4回目は愛知県がんセンターの岩田広治先生を座長にお迎えし、47名の医療者が参加しました。岩田先生からは「医療者と患者の考え方のギャップはどこにあるのか、誤解を生まないための説明とは」というテーマで、また名古屋大学立大学の明智龍男先生からは「再発乳がん患者の心の葛藤」というテーマで講演いただきました。

岩田先生が講演の中で、「僕は患者さんに治療の説明をした後に、必ず患者さん本人の言葉で、どういう治療をするか話してもらおう。それで自分の説明が患者さんに正しく伝わっているか確認できる」と話されていたのが大変印象的でした。

ファイザー株式会社の助成金で昨年7月から全国4ヶ所で開催した本セミナーも今回で最終となりました。本セミナーを通じて、乳がん治療に携わる多くの医療者が、患者さん一人一人にとって最適な治療について常に考えながら診療にあたっていることを改めて実感しました。



レモネードスタンド活動報告

2019年度、小児・AYA世代のがん支援のレモネードスタンドは、全国約160ヶ所で開催され、総額4,206,552円の寄付が集まりました。

開催者の中には、「生徒が白血病で亡くなった」という学校の先生からのお申し込みなど、それぞれの思いが伝わるものが多くありました。

また、2月にホームページを大幅にリニューアルしました。デザインも一新し、6月にはレモネードスタンドジャパン応援アンバサダーとして、レモネードデザインの「レモン&シュガー」が就任。レモネードスタンド開催を応援してくれるほか、レモネードスタンドの開催が難しい中、グッズを購入することで小児がんを支援できるように準備しました。是非、みなさまからのご協力をお願いします。

サイトはこちら



<https://www.lemonadestand.jp/>

お預かりした大切なご寄付は、小児がん・AYA世代のがん患者へ新古ウィッグプレゼントや、CJNの小児がんプロジェクト、レモネードスタンドジャパン運営費に充てさせて頂きますが、本年は「小児がん研究助成」として、小児がん研究の研究費を助成する準備を進めております。

今年でレモネードスタンドジャパンは8年目を迎えます。これからも、レモネードスタンドという活動を通し、小児がんとうつ子どもたちへの支援を続けて参ります。今後どうぞよろしく願いいたします。

2019年度 レモネードスタンドご報告

総数：155件 | 寄付のみ：20件

開催数：135件

¥4,206,552

(未収を除く)
*寄付総額(4/7現在)

希少がん

Meet the Expert 2020

罹患者数の少ない希少ながんの信頼できる情報提供として、2017年より希少がんMeet the Expertを、国立がん研究センター中央病院1Fの希少がんセンター待合にて開催しています。前半は講師による講演、後半は患者代表を交えた講師とのディスカッションの2部構成です。

今年2月7日に行われた第60回は「神経内分泌腫瘍<診断と内視鏡治療>」をテーマに開催し、64名の方にご参加いただきました。福岡範先生(国立がん研究センター希少がんセンター/中央病院肝胆膵内科)からすい臓の神経内分泌腫瘍の診断について、関口正宇先生(国立がん研究センター中央病院検診部門内視鏡科)からは消化管(主に大腸)の神経内分泌腫瘍の診断と治療について、実際の大腸内視鏡検査の動画を交えての講演がありました。公開動画では諸事情によりカットになりましたが、実際に参加することで公開出来ないお話や動画を見ることができたり、質問票に書いた質問を、後半のディスカッションで取りあげてもらえることもあります。COVID-19収束後、会場でお待ちしています！



集合写真は内視鏡センターで撮影しました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、今後の開催予定は変更・収録のみ等の情報も代わる可能性があります。HPをご確認下さい。

サイトはこちら



<https://www.cancernet.jp/cancer/rare>

「もっと知ってほしい小児脳腫瘍のこと」

冊子と動画サイトができました

小児脳腫瘍の啓発事業として、2019年度日本郵便の年賀寄付金の助成を受け、専門医による解説動画サイトと、解説冊子「もっと知ってほしい小児脳腫瘍のこと」を公開・制作及び配布をしました。寺島慶太先生（国立成育医療研究センター小児がんセンター脳神経腫瘍科）に総合的な監修を、各テーマに沿った解説動画は、五味玲先生（自治医科大学とちぎ子ども医療センター小児脳神経外科）、山崎夏維先生（大阪市立総合医療センター小児医療センター小児血液腫瘍科）、鈴木智成先生（埼玉医科大学国際医療センター脳脊髄腫瘍科）、柳澤隆昭先生（東京慈恵会医科大学母子医療センター小児脳神経外科）にご協力いただきました。

小児脳腫瘍は、

小児がんの中でも白血球に次いで罹患率の高い病気で、年間約550人の子供たちが診断されます。種類も多いため非常に治療が難しい疾患で、なかなか治療成績が改善されず、小児がんの中でも一番死亡率が高く、治療後も重度の後遺症を抱えることが少なくありません。また、年齢は小児であっても成人の診療を主とする脳神経外科で緊急的に手術することも多く、小児脳腫瘍を専門に診ている病院は少ないため、速やかにアクセスすることが困難という背景があります。そのような問題を少しでも支援できるように、オンラインでは動画サイトを、紙媒体として

手に取れる冊子を制作しました。

サイトの動画はインターネットの環境下であれば、いつでも、どこでも繰り返し無料で視聴できます。冊子には、治療情報だけでなく、小児脳腫瘍をサポートする病院でのチーム医療についてや、治療中・治療後のサポートについても掲載しています。「情報が無く適切な医療機関で適切な治療を受けるタイミングを逃してしまったり」という残念な声を減らすことに繋がることがを願って制作しました。どうか広く役立てて頂ければ幸いです。

動画は各 10~20 分程度。
いずれも無料で視聴できます。



特設サイトでは、わかりやすい講演動画と冊子のダウンロードもできます。あわせてご活用ください。

サイトはこちら



<https://www.cancernet.jp/pbt>






患者様の想いを見つめて、
薬は生まれる。

ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ

エーザイはWHOのリンパ系フィラリア病制圧活動を支援しています。

hvc
human health care

Pick Up すい臓がん

冊子改訂・啓発バッジ販売開始・オンラインセミナー開催

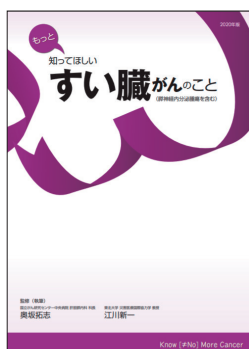
2020年3月「がん化学療法後に増悪した治療不能な膵がん」への効能・効果として、オニバイド（一般名：イリノテカン塩酸塩水和物）が承認されました。新薬の承認が長い間なかったすい臓がんの領域で久しぶりに登場した新規薬剤に期待と注目が集まっています。

5月改訂冊子「もっと知ってほしいすい臓がんのこと」公開

6月すい臓がん啓発ピンバッジ（クリップタイプ）新発売

最新の診療ガイドラインに合わせて冊子を改訂しました。今回は、がん遺伝子パネル検査やアドバンス・ケア・プランニング（Advance Care Planning：人生会議）に関するコラム欄を追加するなど、幅広い視点から活用いただける内容になりました。

今回の改訂には日本セルヴィエ株式会社に支援いただきました。この場を借りてお礼申し上げます。



<https://www.cancernet.jp/suizougan>

¥1,000（税込）
すい臓がん
啓発バッジ
（クリップタイプ）



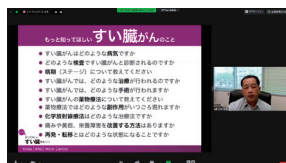
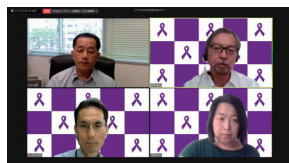
<https://www.cancernet.jp/goods>

<https://www.cancernet.jp/cancer/pancreatic>



司会は、冊子を執筆した医療ライターの福島安紀さんが務め、NPO法人パンキャンジャパン理事長の眞島喜幸さんにもパネリストとしてご登壇いただきました。

7月5日（日）
すい臓がんオンラインセミナー開催
Zoomウェビナーを使用したオンラインセミナーを日本セルヴィエ株式会社が協賛のもと開催しました。参加者へは事前に改訂版の冊子を送付しテキストとして使用。「すい臓がんの診断と内科的治療について」国立がん研究センター中央病院 膵胆管内科 科長の奥坂拓志先生に、「すい臓がんの外科的治療について」山形大学大学院医学系研究科医学専攻外科科学第一講座 教授の元井冬彦先生に、解説していただきました。冊子の内容に沿った同じデザインのスライドを使用し、リアルタイムで取るアンケートはその場で結果を共有でき、登壇者と参加者の距離を感じず、集中できたようでした。講演動画は後日公開予定です。



情報のチカラでつなぐ未来の医療。

私たちの使命は、患者さんのために、医療従事者や製薬企業の方々へ確かな情報をリサーチ・分析し、発信することです。

4つの目線（地域、患者さん、疾患、製品）で医薬品マーケットの本質を理解し、ソリューションを提供いたします。

国際ライフサイエンス株式会社

<https://ilsnet.co.jp>





「もっと知りたい大腸がんのこと 2020in 久留米」にご登壇いただいた先生方

大腸がん啓発セミナー・講演会の動画は下記よりご覧ください

過去に開催された市民公開講座やジャパン・がんフォーラムで収録した動画の中から、ブルーリボンキャンペーンの講演も見られます。ぜひ、ご覧ください。

動画はこちら



<http://www.cancerchannel.jp/posts/category/video/video-category/colon-cancer>

2月15日(土)に福岡県の久留米大学旭町キャンパス筑水会館イベントホールにて「ブルーリボンキャンペーン」もつと知ってほしい大腸がんのこと2020 in 久留米」市民公開講座を開催しました。

当日は180名の方が参加し、「超拡大内視鏡とAI(人工知能)」「がんと漢方」「食とおなかの免疫から大腸がんを考える」といった多彩な講演内容に、熱心に耳を傾けていました。Q&Aコーナーは中井美穂アナウンサー(CNN理事)の司会で進められ、会場から寄せられた多くの質問に対し、先生方が丁寧に回答しました。



また、ブースには、便潜血検査の正しい仕方や内視鏡・腹腔鏡の模擬実演、漢方について、癒しのマッサージなどが出展されて大変賑わいました。

ブルーリボンキャンペーン「もつと知ってほしい大腸がんのこと」 久留米開催報告・東京開催延期について

一方、3月20日(土)に開催を予定していた「もつと知ってほしい大腸がんのこと 2020 in 東京」は、新型コロナウイルス感染症が終息していない状況を鑑み、開催中止としました。楽しみにされていたみなさまには大変申し訳ありません。あらためて検討し、2021年3月に開催する予定です。

8月29日(土)・30日(日)
オンライン血液がんフォーラム
2020 開催決定

詳細はホームページでご確認下さい。
たくさんのお申込みをお待ちしています。

詳細はこちら



https://www.cancernet.jp/bcf_2020



7月4日に開催を予定していた「かながわ血液がんフォーラム2020」は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、共催となる神奈川県の方針で開催出来なくなりました。

この度、先生方の日程を再度調整しオンライン開催に変更、予定していたコンテンツを2日間に分けて開催する運びとなりました。

インターネットにつながる環境があれば遠方の方でも、ご入院中の方でも視聴していただける機会になります。血液がんの各疾患について血液内科の中でも特に専門とする先生方に解説していただくほか、APIアランス、ク



ONCOLOGY

Better Health, Brighter Future

タケダから、世界中の人々へ。
より健やかで輝かしい明日を。

武田薬品工業株式会社
www.takeda.com/jp

2019年度 プロジェクトのご報告

NPO 法人がんサバイバーネットジャパンは、これからも、科学的根拠に基づくがん医療情報をあらゆる方法で発信し続け、がんサバイバーの声を広く社会に届けることで、がんになっても、生きがいをもてる社会の実現に向け、精進し続けて参ります。

(期間：2019年4月1日～2020年3月31日)

活動 カテゴリ	プロジェクト	方 法	時 期	場 所	対 象
普及啓発	大腸がん啓発 ブルーリボンキャンペーン	集客セミナー 2 回開催	11、2 月	いわき、久留米	一般・患者・家族等
		特設 Web サイト運営	通年	Web	一般・患者・家族等
		活動に賛同する医師アソバサダー	通年	47 都道府県	医療者
		啓発グッズの作成・販売	通年	Web・ブース	一般・患者・家族等
	胃がん（消化器がん）疾患治療啓発 キャンペーン	集客セミナー 3 回開催	8、10、12 月	仙台、島根、佐賀	患者・家族等
		啓発グッズの作成	通年	Web	患者・家族等
		特設 Web サイト運営	通年	Web	患者・家族等
	前立腺がん啓発セミナー	集客セミナー	6、8、 9、10 月	高松・宮崎・ 東京・金沢	患者・家族、 医療従事者等
	子宮頸がん啓発 ティール&ホワイトリボン プロジェクト	啓発リーフレットの配布	通年	東京・大阪事務所	一般・患者・家族等
		特設 Web サイト運営	通年	Web	一般・患者・家族等
		啓発グッズの作成・販売	通年	Web	患者・家族等
	Japan Cancer Forum	2 日で 46 のがんに関する 講義・プログラムを実施	8 月	東京	一般・患者・家族等
	MBS Jump Over Cancer	MBS 毎日放送共催 がんサバイバーフォーラム	11 月	大阪	一般・患者・家族等
	医療者向けセミナー講座	乳がん薬物療法 Shared Decision Making セミナー	7、9、10、 1 月	富山、札幌、 徳島、名古屋	医療従事者
	希少がん Meet the Expert	国立がん研究センター 希少がんセンター・オンコロ共催 セミナー 20 回開催	通年	東京	患者・家族、 医療従事者等
	がんと生活のこと	特設 Web サイト運営	通年	Web	一般・患者・家族等
	がんと栄養のこと	特設 Web サイト運営	通年	Web	一般・患者・家族等
	20 疾患フェイスブック	SNS による拡散、 スポット広告	通年	Web	一般・患者・家族等
	悪性黒色腫：メラノーマ	特設 Web サイトでの 動画配信	通年	Web	一般・患者・家族等
	婦人科がん	特設 Web サイトでの 動画配信	通年	Web	一般・患者・家族等
	卵巣がん	特設 Web サイトでの 動画配信	通年	Web	一般・患者・家族等
	男性乳がんの会 メンズ BC	セミナー・交流会	8 月・11 月	東京	患者・家族等
		啓発グッズの作成・販売	通年	Web	一般・患者・家族等
		特設サイト運営 Web	通年	Web	一般・患者・家族等

活動 カテゴリ	プロジェクト	方 法	時 期	場 所	対 象
普及啓発	がんチャンネル	Web 配信、 SNS による拡散	通年	Web	一般・患者・家族等
	血液がん	特設 Web サイトでの 動画配信	通年	Web	一般・患者・家族等
	多発性骨髄腫	特設 Web サイトでの 動画配信	通年	Web	一般・患者・家族等
	造血幹細胞移植	特設 Web サイトでの 動画配信	通年	Web	一般・患者・家族等
	急性リンパ性白血病	特設 Web サイトでの 動画配信	通年	Web	一般・患者・家族等
	神奈川県との協働事業 造血幹細胞移植 総合支援プロジェクト	特設 Web 配信、 SNS による拡散	通年	Web	一般・患者・家族等
		かながわ血液がんフォーラム 14 の血液がんに関する講 義・プログラムを実施	11 月	神奈川	一般・患者・家族等
	小児脳腫瘍	冊子・動画プログラムの 作成	通年	Web	一般・患者・家族等
	ブックレット作成・配布	シリーズ全 32 冊に、そ の他冊子の改訂	通年	全国がん診療連携拠 点病院ほか	患者・家族等
	機関誌作成・配布	機関誌発行・送付	夏、冬	全国	CNJ 支援者等
養成講座	大学・病院等からの 市民公開講座の受託	セミナーの企画・運営	9 月	東京医科歯科大学	患者・家族等
	CCN： CNJ がんナビゲーター認定試験	Web 試験	11 月	Web	一般・患者・家族
	BEC：乳がん体験者 コーディネーター養成講座	Web-Learning 講座＋ 対面講習	7～3 月	Web・東京	乳がん患者他
	※ BEC/CIN アドバンス講習会	認定者限定セミナー	6 月	東京	BEC/CIN 認定者
草の根啓発活動	CSS： がん体験者スピーカー養成講座	Web-Learning 講座	休講	Web	休講
	がん体験者ピアサポート	ピアサポーターの派遣 週 1～2 回	通年	大和市立病院ほか神 奈川県内 4 病院	患者・家族等
	がん情報ステーション	対面でのサポート	5-6 回 / 月開催	東京・大阪	患者・家族等
	Over Cancer Together	ワークショップ形式の スピーチ研修開催	5 月	東京	患者・家族等
	かつらのデイリース（企業協働）	提携サロンにて スタイリング・提供	通年	全国	患者
	ウィッグな帽子（企業協働）	提携サロンにて スタイリング・提供	通年	全国	患者
	レモネードスタンドジャパン	レモネードスタンド実施	通年	全国 150 か所	一般
		夏休み公開講座小児がん治療・支援体験	8 月	神奈川	小中高生
		新古ウィッグプレゼント（企業協働）	通年	全国	小児・AYA 世代患者
その他	東京都文京区	ブース出展	7 月	東京	一般・患者・家族等
	ジュニアインターンシップの受入	CNJ の活動体験	7 月(3日間)	東京	中学生
企業に向けた事業	社内向け研修企画実施、社内向け動画制作等				

特定非営利活動法人（以下 NPO 法人）の活動は、その法人のミッションとビジョンに賛同を頂いた
企業様・団体様、個人様の寄付、及び事業収益により行なわれています。

以下のリストは、NPO 法人キャンサーネットジャパンにご寄付、ならびに事業支援を頂いている企業様・団体様・個人様です。

Supporter サポーター企業

※数字・英語・五十音順

3H クリニカルトライアル株式会社
Fraser's Hospitality Japan 株式会社
MSD 株式会社
PT PLUS
味の素株式会社
アステラス・アムジェン・バイオファーマ株式会社
アッヴィ合同会社
アルフレッサファーマ株式会社
江崎グリコ株式会社
エーザイ株式会社
エーソーケア株式会社
大阪ガス株式会社 ともしびクラブ
大阪ガス株式会社 ビジネスクリエイト
大塚製薬株式会社
小野薬品工業株式会社
オリンパス株式会社
金原出版株式会社
株式会社インテージヘルスケア
株式会社 HP
株式会社グローバルウェイ
株式会社グローバヘルスコンサルティング・ジャパン
株式会社コスモトレードアンドサービス
株式会社コルボ
株式会社ツムラ
株式会社東京義髪整形
株式会社日東
株式会社パル・オネスト
株式会社ボーラ
株式会社ひびたす
株式会社メディコン
株式会社メディリード
協和キリン株式会社
グンゼ株式会社
コロプラスト株式会社
サイアス株式会社
サイオネス・ヘルス合同会社
サノフィ株式会社
サンセイ医機株式会社
セコム損害保険株式会社
セルジーン株式会社
大鵬薬品工業株式会社
武田薬品工業株式会社
中外製薬株式会社
テルモ株式会社

日本セルヴィエ株式会社
日本イーライリリー株式会社
日本生命保険相互会社
バイエル薬品株式会社
ファイザー株式会社
プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社
保険代理店 M I N E
ミズホ株式会社
メットライフ生命保険株式会社
メディコン株式会社
メディデータ・ソリューションズ株式会社
メルクバイオファーマ株式会社
ヤンセンファーマ株式会社
有限会社 新春菊
有限会社さとう音楽事務所
ユーロメディック株式会社
ユーロコープ・ジャパン合同会社
リーズンホワイ株式会社

Nonprofit 非営利組織サポーター

※掲載順不同

認定 NPO 法人希望の会
NPO 法人婦人科悪性腫瘍研究機構
NPO 法人腺友倶楽部
NPO 法人 E-BeC
NPO 法人肺がん患者の会ワンステップ
NPO 法人 がん暮らしを考える会
NPO 法人日本小児がん研究グループ
中皮腫サポートキャラバン隊
公益財団法人前立腺研究財団
一般社団法人日本リンパ浮腫学会
一般社団法人日本小児・血液がん学会
一般社団法人日本皮膚悪性腫瘍学会
日本がん免疫学会
LAVENDER RING
国立がん研究センター
久留米大学病院
福島労災病院
大和市立病院

横須賀共済病院
藤沢市民病院
済生会横浜市南部病院
東京医科歯科大学医学部附属病院腫瘍センター
相模原市
SHARE 日本語プログラム
すみれ会

Grant 助成金

※掲載順不同

かながわボランティア活動推進基金 21
ファイザー株式会社
日本郵便年賀寄付金

Media メディアサポーター

※掲載順不同

メディアサイト株式会社
MBS 毎日放送

Lemonade レモネードスタンド実施サポーター

※掲載順不同

Aira of lemonade café、美作大学 学友
会執行部、岡山県喫茶飲食生活衛生同業
組合岡山支部、小規模多機能センター・
デイサービスセンター「りん」、麗澤中学・
高等学校、TR Steps、檸檬屋、とみおか
スマイル保育園 保護者会、奥畑京士郎、
奥畑隆ノ介、金子チカ、大鵬薬品 有志、
LEMONA DESIGN 株式会社、ボーイス
カウト千葉第 18 団 ベンチャー隊、梅香
レモネードスタンドチーム、霧が丘六丁
目まちづくり推進会、島田市障がい者福
祉連絡会（パリアフリーてけて隊）、一
般社団法人 東京女子大学同窓会、熊本大
学がんセンター、静岡県立沼津東高等学
校 香陵祭実行委員会、学生団体マイハ
ウス、近畿大学赤十字奉仕団、新潟国際情
報高等学校海外大学進学コース、おうえ
んフェス実行委員会、北海道旭川東高等
学校 英語部、メディデータ・ソリューションズ
株式会社、ひのでレモネードスタン
ド、上尾愛宕レモネードスタンド、み
みのレモネードスタンド、レモネードス
タンド in ひめじ、市立札幌開成中等教
育学校 ボランティア局、東川高校ボラン

ティア部、小児がんの子どもを救う果汁
戦隊レモンレンジャー、東奥義塾高校 JRC
部、アルスコンピュータ専門学校、青森
県立黒石高等学校 JRC 部、長野県上田
千曲高等学校 生徒会、クオリム株式会社、
Little gems International School 東京
ベイ校、宮崎日本大学高等学校 宮崎レオ
クラブ、玉野市田井地区愛育委員、ユニコ
ラシックパレエスタジオ、日本医科大学
千葉北総病院 がん相談支援センター、晃
華学園中学校高等学校、コマニー株式会
社、味村 勇太、chabbit co.,ltd、岐阜県
立恵那高等学校 保健委員会・財政委員会・
図書委員会、積水ハウス株式会社 横浜北
シャーマン支店、大阪府立八尾高等学
校 2 年 8 組、北海道看護専門学校校友会、
島根大学医学部付属病院がん患者家族サ
ポートセンター、特定非営利活動法人 医
療福祉連携士の会、神奈川県立横浜国際
高等学校インターアクトクラブ、2019 年
神田女学園高等学校 2 年 C 組、島根県立
三刀屋高等学校生徒会執行部、立教女学
院高等学校高 2 有志、白梅学園清修中高
一貫部、GENKI プロジェクト / 鶴が台名
店街に地域の居場所をつくる会、常磐小

学校父母教師会、西武学園文理高等学校
36 期生、39 期生 有志、清風園レオクラブ・
佐世保グリーンライオンズクラブ、N&A
レモネードスタンド、石田 奈緒、横浜準
人高等学校、尚絅学園高等学校インター
アクトクラブ、牛久青年会議所シニアク
ラブ、ぼーうーし、something one、ガ
ールスカウト千葉県第 91 団、みしま難聴児
を持つ親子の会、早稲田速記医療福祉専
門、和歌山県立熊野高等学校 異文化研究
選択生、晃華学園小学校 2 年生有志、安
田学園インターアクトクラブ、内田美奈、
忽那俊明、ボーイスカウト木更津第二団、
ボーイスカウト日本連盟千葉第 9 団、岡
山県立高梁城南高等学校保健委員会、大
阪教育大学附属池田中学校生徒会、サニ
サイドインターナショナルスクール、特
定非営利活動法人ナチュラル・トリート
メントなたなえる学習室、羽衣国際大学
池田ゼミナール、独立行政法人労働者健
康安全機構大阪労災看護専門学校、オフ
イス S K カンパニー、コマニー株式会社『コ
マフェス TOKYO』

レモン液提供：
ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社

Supporter 個人サポーター

※掲載順：五十音順・敬称略※掲載のご許可をいただいている方のみのご紹介です。

明石みき、秋山弘樹、有門敏敏、池本聡子、石井理裕、石原浩司、伊藤圭二、伊沼敦子、井上清子、井上弘毅、蘭牟田忠男
岩城久美、岩崎祐子、岩月すみ江、上鶴瀬麻有、宇野篤、浦谷貴子、江越洋二、蝦名章、太田若菜、大森真二
小笠原健司、岡野郁子、小澤公弘、小田毅、小野一己、勝田文一、加藤照雄、加納正俊、亀沢みのり、川越敏章
川原真理子、岸本大輔、木全裕子、木村一貴、久保順子、倉田晶子、呉妙子、黒田尚子、桑原澄恵、小池梨江、小阪真二、小鹿学、小堤弘行、小松弥生、小山紀枝
小山雅子、近藤恒徳、西郷元彰、酒田亜希、櫻洋一郎、佐藤薫、佐藤透子、佐藤勝、佐野秀樹、沢田晃暢、塩谷英策、島田浩和、清水秀文、蔭美華
白川光政、菅野広明、菅原亜希、鈴木民子、鈴木信子、鈴木好美、園田颯三、竹内啓一、武田高徳、田島玄太郎、橘知世、田中健彦、田中友恵、田中由美、丹治俊邦
坪内扶美、土居礼子、堂前直美、徳永美津子、中釜資、西正、西山毅、野寄容平、野田さおり、橋本里美、八田徹夫、花岡朋和、浜本康夫、早川孝之、林明美
原田雅義、氷室和子、福田文子、福西宏次、藤井真理、藤原静子、保科ゆい子、本郷真由美、前田利文、牧野あずみ、松浦克、松田芳典、松本武嗣、三浦聖子
三浦仁美、三浦路頼乃、湊佳代、宮崎満美子、桃井恵理奈、盛川水砂、盛林美枝子、柳沢孝幸、矢野広恵、山口勝己、山口悠太、山崎明子、山崎宏之
山下奈々美、山地典子、山田都、横田幸子、吉田征司、吉原早苗、脇坂誠也、渡辺厚こ

新型コロナウイルス（COVID-19）対策として、治療薬やワクチン開発の臨床試験が急がれています。臨床試験はその薬剤の効果や安全性を客観的に調べるために、試験の設計からデータ分析に至るまで、厳格な手順のもとに実施されるので、どうしても時間がかかります。一方で、信頼できる適切な試験という点では妥協することなく、一日でも早く臨床に反映できるようにしたいという要求は高まる一方です。

米国立がん研究所（NCI）では、がん患者で新型コロナウイルスに感染し、サイトカイン症候群と呼ばれる免疫反応の暴走で重症化した人を対象に、トシリズマブ（商品名、アクテムラ）を治療に使う臨床試験など、COVID-19に感染したがん患者に特化した臨床試験もはじめています。

その反面、幅広いがん治療にかかわる臨床試験は様々な困難に直面しています。米国では医療資源を新型コロナウイルス対策に配分すべく、多くの州で緊急以外の医療を一時

的に中止するとともに、感染予防のため不必要に医療機関に来ないように呼びかけました。この結果、残念ながら、がん関連の臨床試験も中断が相次ぎました。

しかしNCIはこうした環境下でも、通常は試験実施施設に患者が来院して行う検査を患者の地元の医師が実施する、試験中の経口投与薬は直接患者や地元の医師に届けるなどの工夫で、できる限りがん関連の臨床試験を継続しています。

コロナ禍でがん医療や臨床試験に支障をきたす部分があった反面、テレヘルス（遠隔診療）への取り組みや、臨床試験運営の柔軟性拡大など新たな試みが一気に進みました。新型コロナウイルスの影響は、すぐにはなくなるわけではありません。NCIや米国食品医薬品局（FDA）はもとより、米国臨床腫瘍学会（ASCO）も、より良いがん診療や研究のあり方についてのニューノーマル（新たな標準）を模索すべく、患者や患者擁護団体、様々ながん専門医など幅広い学際的なメンバーによる検討を行い、今年9月には報告書をまとめる予定です。

情報提供／海外がん医療情報リファレンス

CNJ Speakers 22号（2020年 Summer）

※次号は、January-2021年1月発行になります。

編集発行／認定NPO 法人がんネットワークジャパン 発行日／2020年7月
〒113-0034 東京都文京区湯島1-10-2 御茶ノ水K&Kビル2階 <https://www.cancernet.jp>
電話／03-5840-6072 FAX／03-5840-6073 E-mail／info@cancernet.jp

 Bristol Myers Squibb™
ブリストルマイヤーズスクイブ

サイエンスを通じて、 患者さんの人生に 違いをもたらす™

深刻な病と闘う患者さんに革新的な医薬品を開発し、提供する。
私たちは、この使命を胸に、世界中であくなき挑戦を続けます。
ひとりでも多くの患者さんに、新たな希望をお届けするために。
患者さんの人生に違いをもたらすイノベーションを起こす。
それが、私たちの務めです。

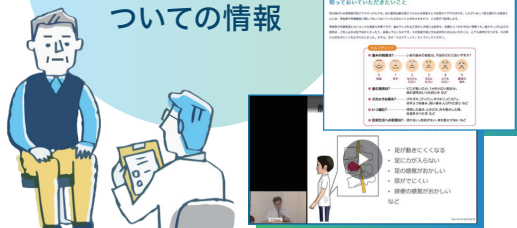
前立腺がん情報サイトのご案内



「自分らしく暮らすために知ってほしい 前立腺がん」は

前立腺がんと正しく向き合い
治療や転移についての理解を深めて
前向きな生活を送っていただくための
情報を提供しています。

前立腺がんの
基礎知識や
治療・転移に
ついての情報



前立腺がん
骨転移経験者の方の
講演動画の視聴



患者さん・医療者・
有識者による座談会の
開催レポート



過去に実施した
前立腺がん転移に
ついての啓発セミナー
開催レポート



患者会や
お役立ていただける
機関・団体の情報

● 右のQRコード、または以下のURLで検索してください。

<https://www.zenritsusengan.bayer.jp>

